

2014年度第2四半期 決算説明会

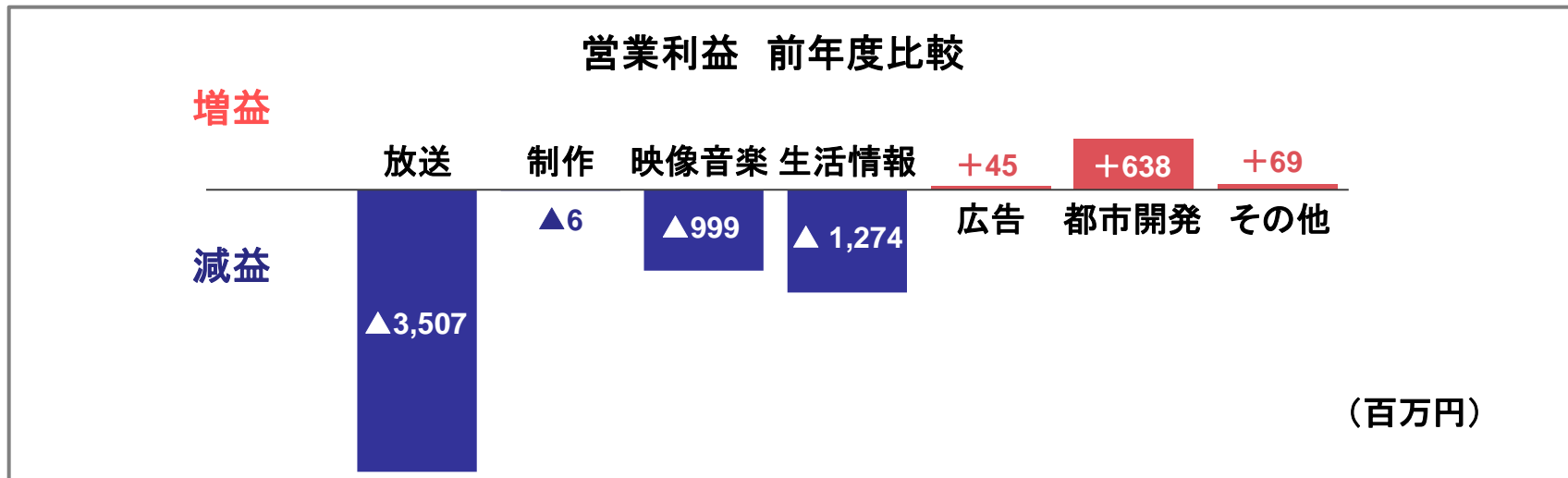
2014年11月7日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

上期決算の概要

連結営業利益95億円 減収 営業減益



フジテレビ

- W杯サッカーの放送により番組制作費が増加
- 映画、ビデオ等 放送外で大型作が少なく減益

都市開発

- 賃貸ビルの空室が解消、稼働率改善
- 住宅販売、資産開発事業も好調

映像音楽

- 大型作の不足、増税の影響で減収 営業赤字
- 映画製作への出資金等で原価率が上昇

生活情報

- 消費増税後の対策に販促費を積極投入
- 売上は前年並み確保、費用増で営業赤字

業績概要【上期】

(単位:百万円)

連結	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率	前回予想	増減率
売上高	306,641	307,239	▲0.2%	313,300	▲2.1%
営業利益	9,518	14,398	▲33.9%	13,100	▲27.3%
経常利益	17,334	15,598	11.1%	14,500	19.5%
当期純利益	12,161	6,194	96.3%	8,500	43.1%

※2014年度の経常利益および当期純利益には、伊藤忠・フジ・パートナーズ(株)の持分法適用関連会社化による負ののれん発生益(約62億円)が含まれます。

(単位:百万円)

フジテレビ	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率	前回予想	増減率
売上高	156,978	161,075	▲2.5%	162,300	▲3.3%
営業利益	4,018	8,167	▲50.8%	7,700	▲47.8%
経常利益	4,148	8,186	▲49.3%	7,800	▲46.8%
当期純利益	2,478	4,050	▲38.8%	4,700	▲47.3%

セグメント別業績【上期】

	売上高					営業利益 (単位:百万円)				
	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率	前回予想	増減率	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率	前回予想	増減率
放送	170,305	173,714	▲2.0%	175,700	▲3.1%	5,641	9,149	▲38.3%	9,000	▲37.3%
制作	25,082	25,233	▲0.6%	24,400	2.8%	1,285	1,292	▲0.5%	1,200	7.2%
映像音楽	27,699	30,465	▲9.1%	30,500	▲9.2%	▲56	942	-	800	-
生活情報	62,169	62,379	▲0.3%	64,400	▲3.5%	▲1,550	▲275	-	▲600	-
広告	21,400	20,449	4.6%	21,000	1.9%	224	178	25.8%	200	12.1%
都市開発	21,355	17,974	18.8%	19,600	9.0%	3,186	2,547	25.0%	2,200	44.8%
その他	12,992	13,174	▲1.4%	13,300	▲2.3%	493	424	16.3%	300	64.4%
調整額	▲34,363	▲36,152	-	▲35,600	-	294	139	-	0	-
連結	306,641	307,239	▲0.2%	313,300	▲2.1%	9,518	14,398	▲33.9%	13,100	▲27.3%

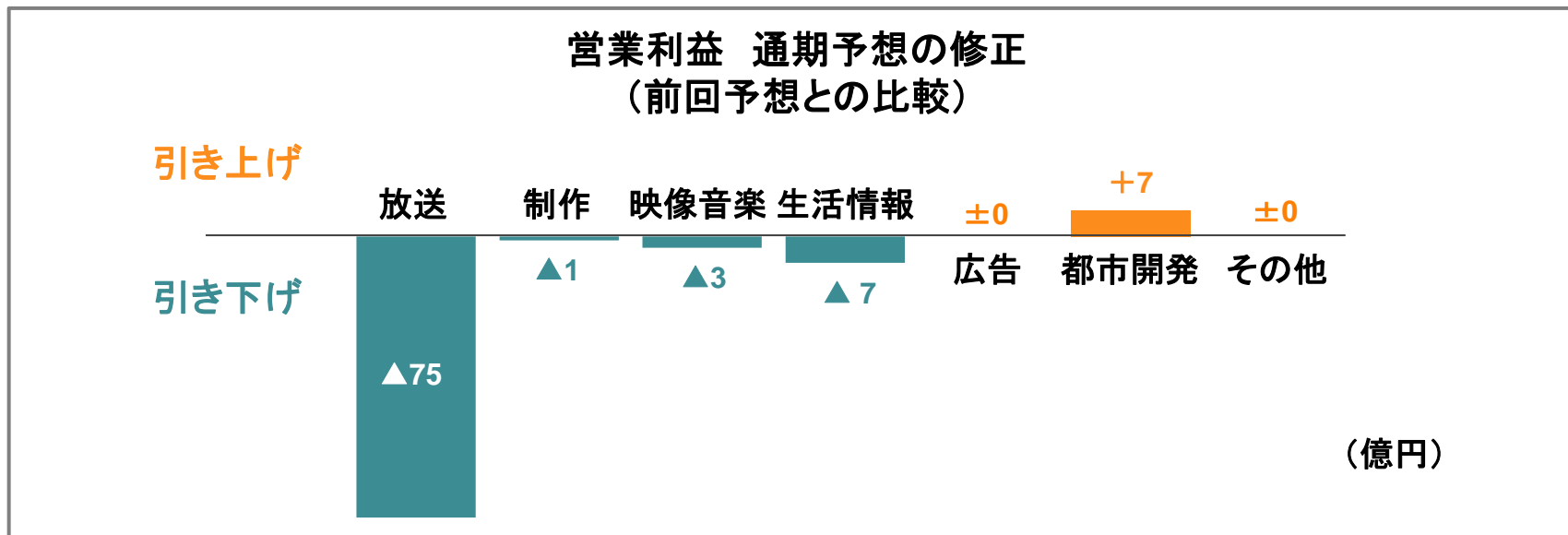
《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

通期業績見通し

連結営業利益予想264億円 広告収入の見込みを引き下げ



フジテレビ

- 広告収入の見込みを引き下げ

都市開発

- 市況は好調、引き続き大きな貢献を見込む

映像音楽

- 下期は期待作をリリース、ラインナップ強化
パッケージ以外も多様な収益の積み上げを図る

生活情報

- 足元は売上好調、下期の予想を上方修正
- 販促を効果的・効率的に実施 利益確保を図る

2014年度 業績予想の修正

連結	通期予想	前回予想	増減額	(単位:百万円)
売上高	645,400	650,700	▲5,300	
営業利益	26,400	34,000	▲7,600	
経常利益	35,600	36,800	▲1,200	
当期純利益	23,700	22,600	1,100	

フジテレビ	通期予想	前回予想	増減額	(単位:百万円)
売上高	309,700	321,800	▲12,100	
営業利益	10,100	18,000	▲7,900	
経常利益	10,300	18,100	▲7,800	
当期純利益	6,100	11,100	▲5,000	

	下期予想	前回予想	通期予想	前回予想	(前年比)
ネットタイム	▲5.4%	▲3.1%	▲2.5%	▲2.5%	
ローカルタイム	0.6%	▲3.4%	2.4%	▲1.5%	
スポット	0.5%	7.5%	0.5%	6.5%	
放送収入	▲2.2%	2.0%	▲0.8%	1.8%	

セグメント別業績予想

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	通期予想	前回予想	増減額	通期予想	前回予想	増減額
放送	3,405	3,518	▲113	128	203	▲75
制作	513	512	1	28	29	▲1
映像音楽	597	593	4	21	24	▲3
生活情報	1,384	1,416	▲32	9	16	▲7
広告	432	433	▲1	5	5	0
都市開発	543	495	48	63	56	7
その他	270	273	▲3	7	7	0
調整額	▲690	▲733	-	3	0	-
連結	6,454	6,507	▲53	264	340	▲76

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス※
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

※2014年10月 クオラスと協同広告が合併

経営の取り組みの方針

フジ・メディア・ホールディングスはこれまで

- 日本で最初に認定放送持株会社に移行、7年目へ
メディア事業拡大・グループ経営強化により経営基盤が拡充
- メディア環境の変化に対し先駆的に事業開拓
デジタル・インターネット技術の革新に意欲的にチャレンジ
- 経済環境が良好な中、視聴率低下で業績は苦戦
グループのポテンシャルからは大きな業績拡大余地

我が国を代表するメディアコングロマリットとして**反転・成長へ!**

- 地上波を核としたコンテンツ・メディア事業の安定的成長
[視聴率トップの奪還・広告収入シェア拡大へ]
- デジタル技術の進化・メディア環境の変化を収益に取り込む
 - 成長分野の重点強化 [配信] [ゲーム] [アニメ]
- 強い事業ポートフォリオの構築
[グループ各社の収益強化] [新たな事業領域の開拓]
- 成長に向けた出資、M&A
- 積極的かつ安定的な株主還元

- 地上波を核としたコンテンツ・メディア事業の安定的成長
～グループのコアは「地上波テレビ事業」～

視聴率首位奪還に向け全力で取り組む



テレビ広告市場の緩やかな拡大を見込む中
視聴率向上でシェア拡大、広告収入の回復へ

■ デジタル技術の進化・メディア環境の変化を収益に取り込む

- 映画、イベント、MD・権利周辺ビジネスで引き続き大きな収益を獲得
将来のメディアビジネスにおけるキープレイヤーとして各分野のコンテンツの一段の強化
- 成長事業のデジタル事業分野では先行した取り組みからの収益を刈り取りながら
将来のビジネスを見据えたチャレンジを継続

3波＋インターネット配信メディアの「4M」でコンテンツ価値を最大化

□ 成長分野の重点強化

成長分野と位置づけ重点強化する分野

配信

- 「フジテレビオンデマンド」をさらに拡大、成長市場を取り込み
- 将来の配信ビジネスの枠組み作りを続けながら、大きな収益の獲得へ

ゲーム

- スマートフォン向けネイティブアプリゲームに子会社「Fuji & gumi Games」を通じ本格参入
- ヒットを生み出し、大きな収益獲得を目指す

アニメ

- 昨年、フジテレビにアニメ開発部を新設、フジテレビアニメビジネス戦略を一元化
- 「劇場アニメ作品」の本格展開へ。MDビジネス、海外展開での収益拡大も目指す

■ 強い事業ポートフォリオの構築 [グループ各社の収益強化]

一層のグループ経営基盤強化に向け、各グループ会社の一段の収益強化を図る

フジテレビのほか、以下の3社を中心に営業利益の大きな拡大を目指す

BSフジ
(放送)



BS広告市場の成長を取り込み
収益の拡大を図る

サンケイビル
(都市開発)



好環境の下、グループの収益の
底上げに大きく貢献

ディノス・セシール
(生活情報)



売上高利益率を改善
利益の大幅な増加を目指す

■ 強い事業ポートフォリオの構築 [新たな事業領域の開拓]

東京DAIBA・MICE/IR 特区構想

日本を代表するイベント事業者 & 台場開拓のパイオニアとして
新たなエンタテインメント事業を開発

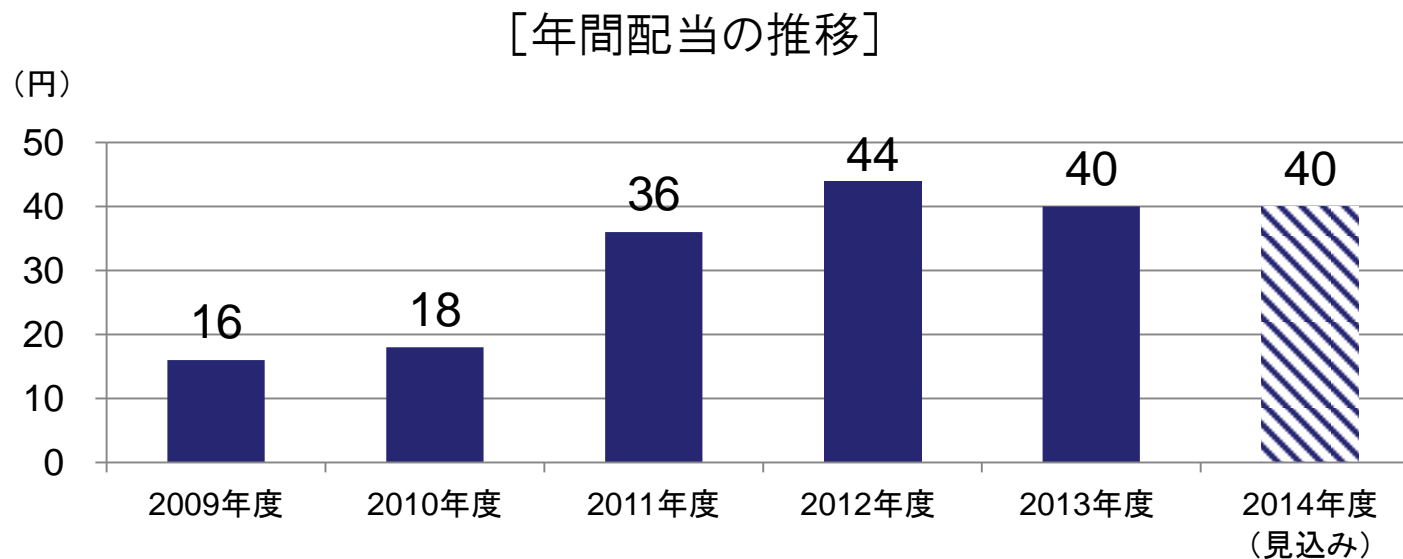
大きな収益の柱を目指し、事業化準備を進める

■ 成長に向けた出資、M&A

成長分野を中心に引き続き積極的な出資、M&Aを検討・実施

■ 積極的かつ安定的な株主還元

高い目標配当性向をもとに業績に応じた株主への配分を実施
株主還元重視の観点から配当の安定性も考慮、高水準の配当継続を目指す



※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

フジテレビ・主要子会社の状況

(単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
放送事業収入	131,106	130,882	0.2%
放送収入	115,350	114,445	0.8%
その他放送事業収入	15,755	16,436	▲4.1%
その他事業収入	25,872	30,193	▲14.3%
売上高合計	156,978	161,075	▲2.5%
放送事業原価	89,483	87,541	2.2%
その他事業原価	22,351	23,918	▲6.6%
販売費・一般管理費	41,125	41,448	▲0.8%
営業利益	4,018	8,167	▲50.8%

(単位:百万円)

	2014年度 第2四半期	増減率	2014年度 上期	増減率
ネットタイム	26,845	▲2.5%	54,308	0.5%
ローカルタイム	3,948	7.9%	7,475	4.3%
スポット	24,560	0.7%	53,566	0.6%
放送収入合計	55,355	▲0.4%	115,350	0.8%

スポット収入業種別動向 2014年7月～9月 ※管理ベース

業種	シェア	前年シェア	前年比	業種	シェア	前年シェア	前年比
化粧品・トイレタリー	14.2%	12.6%	10.8%	医薬品・医療用品	5.0%	4.4%	9.6%
通信	13.6%	10.6%	25.5%	アルコール飲料	4.2%	4.1%	0.7%
自動車・関連品	9.0%	8.9%	▲0.9%	衣料・身回品・雑貨	4.1%	3.7%	11.0%
非アルコール飲料	7.6%	8.8%	▲14.6%	流通・小売業	3.5%	4.3%	▲21.5%
エンタテインメント	7.1%	8.8%	▲20.4%	交通・レジャー・観光	3.4%	2.9%	17.0%
食品	7.1%	7.9%	▲12.1%	不動産・住宅設備	2.2%	2.0%	4.7%
外食・各種サービス	6.1%	8.6%	▲29.8%	家電・AV機器	1.1%	0.8%	39.9%
事務・精密・光学機器	5.1%	4.3%	18.0%	エネルギー・機械	0.3%	0.1%	136.4%
金融・保険	5.0%	6.0%	▲17.3%	その他	1.3%	1.2%	3.9%

朝・午前帯が引き続き好調、全日視聴率に貢献

昼帯バラエティは夏休みに支持を拡大、継続して企画を強化

10月改編 週末のバラエティを中心に新番組を投入

「痛快TV スカッとジャパン」



月曜20時

「ニュースな晚餐会」



日曜20時

「オモクリ監督」



日曜21時

課題だった枠の改善を図り、全体の底上げを目指す

大型単発番組の機動的な投入など柔軟な編成戦略

「キリンチャレンジカップ 2014」

(サッカー日本代表戦)

11月18日(火)19時～

「リーガルハイ・スペシャル」

11月22日(土)21時～23時10分

「FNS歌謡祭」

12月上旬 放送予定

開局55周年記念ドラマ

「オリエント急行殺人事件」

2015年新春 放送予定

(単位: 億円)

	2014年度	2013年度	増減率
第1四半期	260	241	7.9%
第2四半期	256	247	3.4%
上期	516	488	5.6%
第3四半期		241	
第4四半期		253	
下期		494	
通期		983	

※自社制作番組及び
購入番組の直接費

6月、7月 FIFAワールドカップ放送のため、前年比増加
下期の制作費は抑制

■ その他事業

(単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減額
その他事業収入	25,872	30,193	▲4,321
イベント	10,522	12,810	▲2,288
映画	4,713	5,657	▲944
ビデオ	1,884	3,059	▲1,175
MD	3,504	3,711	▲207
デジタル	3,335	2,904	430
その他	1,911	2,048	▲137

■ その他放送事業

(単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減額
その他放送事業収入	15,755	16,436	▲680
番組販売	9,012	9,145	▲133
CS放送・その他	6,743	7,290	▲547

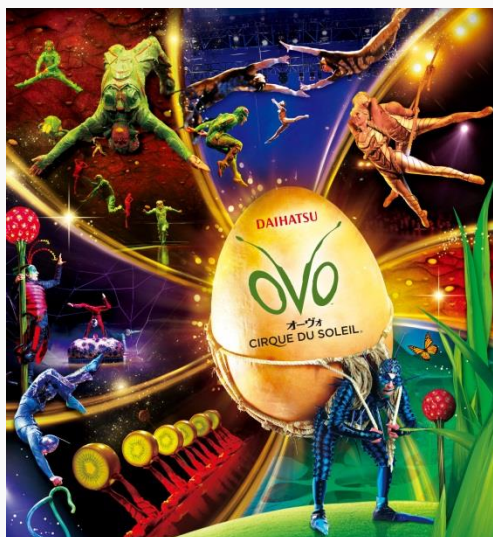
イベント事業は、昨年度の大型イベントの反動で減収

イベント事業

■シルク・ドゥ・ソレイユ 「OVO」(オーヴォ)

大阪公演 34万6,200人動員 大盛況で終了
東京・大阪公演の累計では 82万5,300人を動員

名古屋公演 11月20日開幕

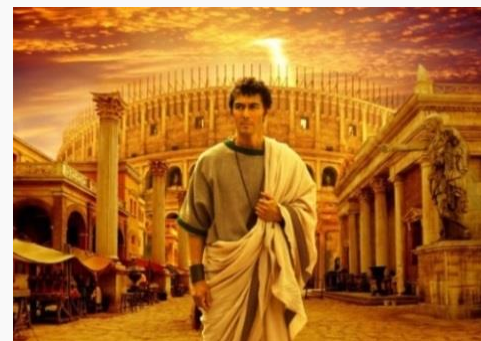


2015年6月7日まで、福岡、仙台を巡演
通期にわたり、収益貢献に期待

映画事業

■上期は大ヒット「テルマエ・ロマエⅡ」が貢献

興行収入44億円



開局55周年記念作品
「バンクーバーの朝日」
12月20日公開



「舞妓はレディ」 公開中



■有料配信ビジネスが着実に成長

多くの定額配信事業者へ作品を提供、コンテンツの価値を最大化

番組配信（デジタル事業）

■フジテレビオンデマンド

着実に増収、収益貢献

モバイル向け中心に会員拡大

木22時ドラマ(7月~9月)
「昼顔」

配信収入に貢献



■「有料×無料」のハイブリッド

有料⇔無料 視聴の流れを作り、
会員基盤の一層の拡大を目指す

ゲーム（デジタル事業）

■Fuji&gumi Games

本格アプリ第1弾リリース（2014年10月）
大型作の継続的な開発体制を目指す



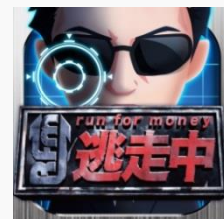
「ファントム オブ キル」
メディアミックス展開 配信、イベント、MD

ゲーム関連番組内に紹介コーナー

「でんぱジャック -World Wide Akihabara-」
毎週日曜深夜 放送中



■スマートフォン向けアプリに注力



「逃走中」
200万ダウンロード



パソコン版「ゲゲゲの鬼太郎 妖怪横丁」
スマートフォン向けもリリースへ

アニメ事業

年間数本を目標に劇場版アニメ作品の制作体制を構築
キャラクターのMD展開、海外ビジネスで収益拡大を目指す

■2015年 劇場版アニメ映画3本の公開が決定（他2～3作品を予定）



2015年1月
「サイコパス」劇場版
アニメ放送枠「ノイタミナ」発



2015年公開
伊藤計劃プロジェクト

「虐殺器官」「ハーモニー」

■2016年は大型劇場版アニメ映画を公開予定

放送事業
(BSフジ)

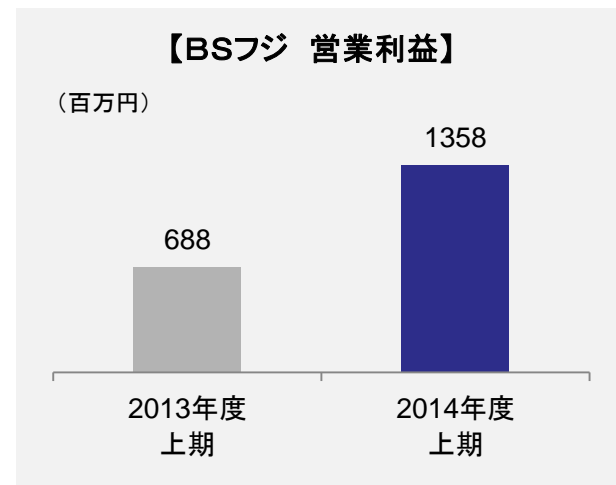
映像音楽事業
(ポニーキャニオン)

生活情報事業
(ディノス・セシール)

都市開発事業
(サンケイビル)

BSフジ 上期は増収増益

- 衛星放送の広告市場は着実に拡大
- 地上波と差別化した独自の編成で存在感を発揮
- 効率的なコスト運用を図り、より高い業績を目指す



10月改編

- 看板番組「プライムニュース」は引き続き好調
- 女性層など幅広い支持を狙い、新番組を投入

金曜19時
「あなたの歌謡リクエスト」



金曜22時
「コサキン道中ぶらっぶらっぶらっ！」



月曜～金曜 20時
「プライムニュース」



大手広告主を中心にセールス好調を維持

放送事業
(BSフジ)

映像音楽事業
(ポニーキャニオン)

生活情報事業
(ディノス・セシール)

都市開発事業
(サンケイビル)

上期は大型作品のリリースがなく減収 営業赤字

- 下期は期待の作品をラインナップ
- 幅広い権利取得、制作段階への参画・出資を継続
物販、ライブ、イベント、配信など新たな収益獲得を目指す

【映像音楽事業 営業利益】

(百万円)

942

▲ 56

2013年度
上期

2014年度
上期

下期の期待作



「Free! -Eternal Summer-」
Blu-ray/DVD

スペシャルイベントも開催予定
2015年3月(両国国技館)

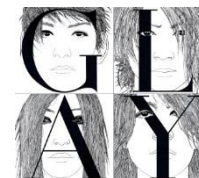


劇場版アニメ
『進撃の巨人 前編 ～紅蓮の弓矢～』

11月22日公開

後編は2015年公開予定

「進撃の巨人展」やMD展開など
周辺事業も強化



GLAY ニューアルバム
11月5日発売

「MUSIC LIFE」



映画
「エクスペンダブルズ 3」
11月1日公開

放送事業
(BSフジ)

映像音楽事業
(ポニーキャニオン)

生活情報事業
(ディノス・セシール)

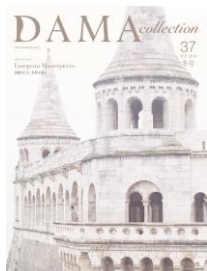
都市開発事業
(サンケイビル)

消費増税後の厳しい環境下で販売促進に注力 上期は前年に近い売上高を確保

- 足元で売上は着実に回復 秋冬商品の販売が好調
- 下期は、効率的なコスト運用で利益確保を図る
- 中期的な売上拡大に向けた積極策は継続

【DAMAシリーズ】

高品質・高価格帯商品を中心にすえ業績好調
一層のブランド向上へTVCMを実施



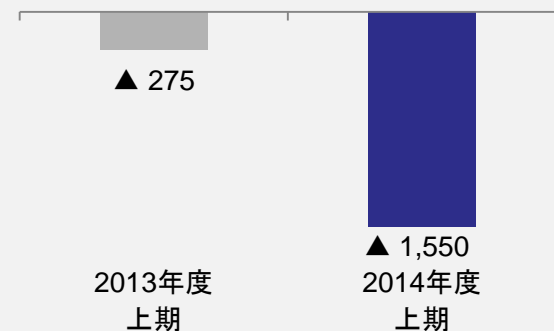
2014年秋 新カタログ
「DAMA Premium」創刊

新たな顧客層をターゲットに



【生活情報事業 営業利益】

(百万円)



放送事業
(BSフジ)

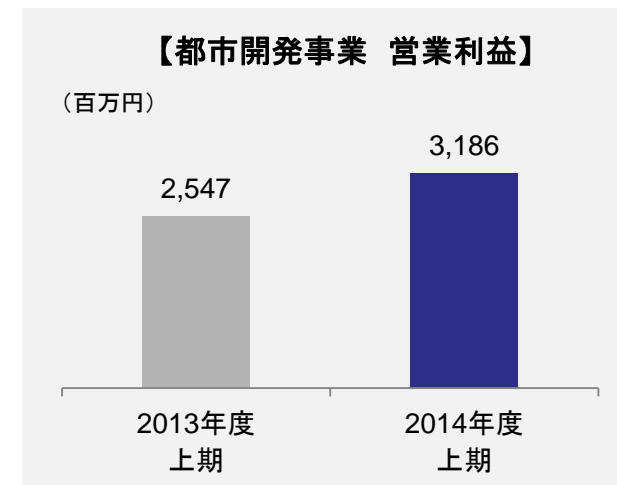
映像音楽事業
(ポニーキャニオン)

生活情報事業
(ディノス・セシール)

都市開発事業
(サンケイビル)

不動産市況の好調を背景に、上期 増収増益

- 主要ビルで高い稼働率の実現
- 住宅事業はマンション販売好調、収益貢献
今期の住宅販売戸数は前年比で大幅増を見込む



ビル事業

東京、大阪の旗艦ビルを核としながら、高付加価値のミッドサイズビルを継続的に開発都心のビジネス街でシリーズ展開へ



高グレードビル「S-GATE」

住宅事業

- 販売戸数の着実な拡大を目指す
- 利便性が高く立地条件の良好な、大都市通勤圏に焦点を絞り開発



「ルフォン」シリーズ
ブランドの確立へ TVCMを放送

■ ニッポン放送(放送事業) (単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
売上高	7,381	7,277	1.4%
営業利益	270	228	18.3%
経常利益	240	239	0.6%
当期純利益	207	185	11.6%

■ ポニーキャニオン(映像音楽事業) (単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
売上高	20,567	23,575	▲12.8%
営業利益	▲356	382	-
経常利益	▲209	558	-
当期純利益	▲255	318	-

■ BSフジ(放送事業) (単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
売上高	7,041	6,448	9.2%
営業利益	1,358	688	97.4%
経常利益	1,390	735	89.1%
当期純利益	886	443	100.0%

■ ディノス・セシール(生活情報事業) (単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
売上高	53,778	54,280	▲0.9%
営業利益	▲1,142	110	-
経常利益	▲1,069	153	-
当期純利益	▲439	121	-

※2013年7月の合併前は、ディノス、セシール(単体)、フジ・ダイレクト・マーケティングの合計

■ クオラス(広告事業)

(単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
売上高	20,138	19,203	4.9%
営業利益	187	180	3.7%
経常利益	201	190	6.0%
当期純利益	111	97	14.4%

■ サンケイビル(都市開発事業)

(単位:百万円)

	2014年度 上期	2013年度 上期	増減率
売上高	17,574	15,056	16.7%
営業利益	3,176	3,426	▲7.3%
経常利益	2,688	2,969	▲9.5%
当期純利益	1,757	1,590	10.5%

※2013年度の都市開発事業とサンケイビル(単体)の業績には、保有ビル売却による利益計上額に差異があります。差異は、当該ビルの貸借対照表計上額の違いに起因するものです。

(単位:億円)

		2014年度		2015年度 通期 (計画)
		上期 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連結	104	325	215
	フジテレビ	32	87	70
	都市開発事業	61	207	124
	フジ・メディアHD	1	7	3
減価償却費	連結	96	204	205
	フジテレビ	46	99	98
	都市開発事業	17	39	44
	フジ・メディアHD	12	24	23

- P. 26 : Photos : OSA Images Costumes : Liz Vandal © 2009 Cirque du Soleil © 2013 Fuji Television
- P. 26 : © 2014「テルマエ・ロマエⅡ」製作委員会
- P. 26 : © 2014「バンクーバーの朝日」製作委員会
- P. 26 : © 2014 フジテレビジョン／東宝／関西テレビ放送／電通／京都新聞／KBS京都／アルタミラピクチャーズ
- P. 27 : © 2014 Fuji&gumi Games
- P. 27 : © システム・クリエート／フジテレビジョン／クロノス
- P. 27 : © 水木プロ／フジテレビ
- P. 28 : © PSYCHO-PASS Committee
- P. 28 : © Project Itoh / GENOCIDAL ORGAN
- P. 28 : © Project Itoh / HARMONY
- P. 30 : © おおじこうじ・京都アニメーション／岩鷲高校水泳部ES
- P. 30 : © 諫山創・講談社／「進撃の巨人」製作委員会
- P. 30 : © EX3 Productions, Inc. All Rights Reserved.